



年頭の初



大町町議会議長 三谷 英史

ていきます。

大町町は、昨年、町の指針となる「大町町第5次総合計画」〔絆・ふれあい・元気な町〕を策定しました。これを町づくりの中心に据え、住みやすさとは何かを考え、形にしていきたいと思っています。



令和5年の新春を迎えるにあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

町民の皆様方におかれましては輝かしい新春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

また、町政はもとより議会運営に格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

令和2年1月以降、新型コロナウイルス感染症の影響により3年余りにわたり社会経済活動が止まり、飲食店や交通関連業、需要減退による生産者の皆様への影響は甚大な痛手を被り現在に至っています。このようなか、新たな変異株の脅威は残っていますが、ワクチン接種と共に、新しい生活様式が進み、社会経済活動が少しずつ動き出したことは、本当に喜ばしいことでもあります。

町内の各商店・事業所におかれましては、大変厳しい状況下にあっても経営努力により、本町の地域経済や雇用を支えていただいておりますことに対し、心よりの敬意と感謝を申し上げます。

さて、地方自治体を取り巻く環境は、依然として厳しく、特に人口減少・高齢化が著しい地方にとっては

今後とも、町の特性を生かした町づくりに、職員共々、取り組みながら、大町町の更なる飛躍を目指していく決意でございます。

結びに、今年も皆様にとりまして、幸多き年でありますよう心からお祈りを申し上げます、新年のご挨拶いたします。

経済情勢も含め、次代の先行きがますます不透明感を増しており、近年の異常気象による災害も多発しています。

そうした中、本町においては町民の皆様と一丸となって令和元年・3年の大水害からの復旧、復興の推進に努め、被災から1年4か月が経過し、活気あふれる復興の町づくりへと着々と進んでいるところであります。

私ども議員一同、本年4月をもって任期が満了となりますが、今後も、町民の皆様の意見や思いを町政に反映させ、より一層、町政発展のために努力してまいりる所存でございます。住民代表の意思決定機関である議会としての役割と責任を果たすべく、大町町の将来を見据え、町長を始めとする執行機関とも建設的な議論を行い、行政と議会が互いに切磋琢磨しながら町民の負託に応えられるよう取り組んでまいりますので、今後ともご支援とご協力をお願い申し上げます。

終わりに、町民の皆様方の今年一年のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます、新年のご挨拶といたします。